



国内モバイル / クラウドセキュリティ市場予測を発表

Japan, 2019年9月4日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、国内の企業向けモバイルセキュリティ市場とクラウドセキュリティ市場の2019年から2023年までの予測を発表しました。

IDCでは、企業向け国内モバイルセキュリティソフトウェア製品市場を国内モバイルエンタープライズセキュリティ市場として、またSaaS（Software as a Service）やPaaS（Platform as a Service）、IaaS（Infrastructure as a Service）のパブリッククラウド環境に対するセキュリティソフトウェア製品市場をクラウドセキュリティ市場として市場規模算出 / 市場予測を行っています。国内モバイルエンタープライズセキュリティ市場の2018年～2023年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は11.4%で、市場規模（売上額ベース）は2018年の82億円から、2023年には141億円に拡大すると予測します。2020年の東京オリンピック / パラリンピックの開催に向け、公衆Wi-Fi環境が整備されており、モバイル環境におけるWi-Fi通信での盗聴やハッキングなどのセキュリティ脅威は高まります。これによって、データ暗号化通信やウイルス対策、モバイルデバイスでのコンテナ化やファイル暗号化などの情報漏洩対策に対する需要が拡大するとIDCはみています。

また、国内クラウドセキュリティ市場の2018年～2023年のCAGRは19.1%で、市場規模（売上額ベース）は2018年の114億円から、2023年には273億円に拡大すると予測します。デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展によって社内 / 社外に関わらずさまざまなエンドポイントデバイスからクラウドサービスを通じて情報資産を活用する機会が増えることで、クラウド環境へのセキュリティ対策需要が高まるとIDCはみています。政府では、「クラウド・バイ・デフォルト（Cloud by Default）」の原則に則り、官公庁および地方自治体でのパブリッククラウドサービスの利活用を促進させようとしています。そのため、政府はクラウドサービス提供事業者に対する安全評価基準プログラムの日本版FedRAMP（Federal Risk and Authorization Management Program）の創設やデジタルファースト法案の整備を進めており、これによって官公庁および地方自治体ばかりでなく、一般企業においてもパブリッククラウドサービスの利用が加速するとみています。同市場は、モバイルデバイスからパブリッククラウドサービスの利用に対するセキュリティリスクと、政府の「クラウド・バイ・デフォルト」の原則の採用によるパブリッククラウドサービス利用拡大に伴うクラウド環境へのセキュリティリスクによって、市場が拡大するとIDCは考えます。

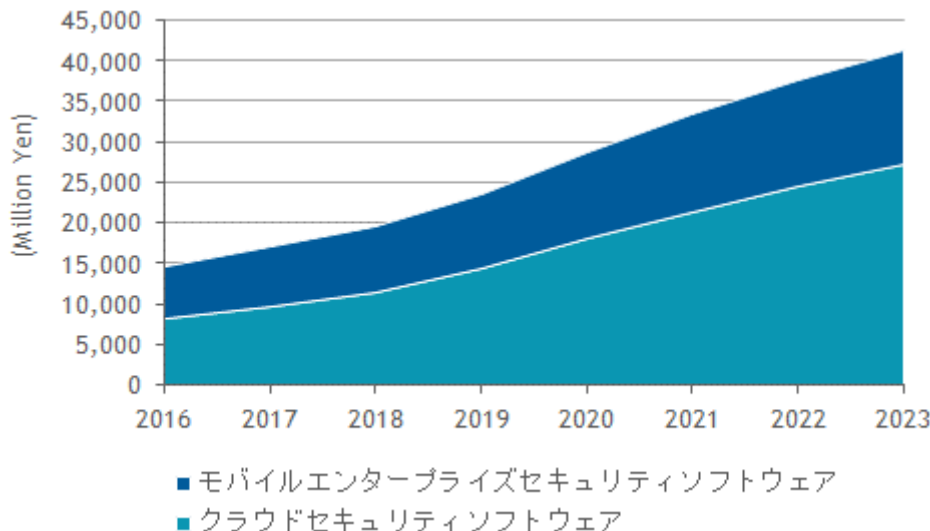
クラウドサービスの活用は、DXの進展や働き方改革による生産性の向上、そして公衆Wi-Fiの整備によって、モバイルデバイスから利用するケースが増えています。一方で、モバイルデバイスに対するマルウェアは増加し、巧妙化しています。そして、EU一般データ保護規則（GDPR：General Data Protection Regulation）や米国カリフォルニア州消費者プライバシー法（CCPA：California Consumer Privacy Act）、米国政府調達における管理すべき重要情報（CUI：Controlled Unclassified Information）の保護に対する政府以外の企業や組織に適用されるセキュリティ対策基準「NIST SP800-171」など、プライバシーデータを含めた企業や組織が持っている重要データの保護規制が国際的に強化されてきています。企業や組織は、モバイル環境とクラウド環境において外部脅威対策だけでなく、脆弱性管理やセキュリティポリシーの一元管理、アクセス管理など包括的なセキュリティ対策が必要となります。「モバイルセキュリティやクラウドセキュリティのソリューションを提供するサプライヤーは、モバイルデバイスからクラウドサービスを安心安全に利用するためにクラウドサービスへの暗号化通信やアクセス管理など、モバイル環境とクラウド環境の両方に対するセキュリティソリューションの統合化を図るべきである。これによって、企業や組織におけるモバイルデバイスを経由したクラウドサービス利用時の情報漏洩対策の強化が図れる」と、IDC Japan ソフトウェア & セキュリティのリサーチマネージャーである登坂 恒夫 は述べています。

今回の発表はIDCが発行した国内モバイル / クラウドセキュリティ市場予測、2019年～2023年にその詳細が報告されています。本レポートでは国内モバイルエンタープライズセキュリティ市場と国内クラウドセキュリティ市場を機能市場セグメント別に分けて、2019年～2023年の市場予測を提供しています。

< 参考資料 >

国内モバイル / クラウドセキュリティ市場 製品セグメント別 売上額予測、2016年～2023年

Figure 1



Source: IDC Japan, 9/2019

About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com.

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan
jp-press@idc-japan.co.jp
+81-3-3556-4768